

共感力
自進力
やりぬく力



八嘉小だより

令和3年1月28日
第22号
文責 吉永鈴子

共感力・自進力・やりぬく力の育成のために！

熊本県では、『熊本の学び推進プラン』を策定し、未来の創り手となる子供たちの「目指す姿」と学びの在り方を、主体である「子供」、そして学校だけでなく、家庭・地域・行政を含めた五者が共有し、連携・協働して一体的に取り組んでいくことを推進しています。このことをふまえ、本校では、たびたびご紹介しておりますとおり、「やさしい子・かしこい子・たくましい子」を目指して、「共感力・自進力（勉まぢ けんまぢ）・やりぬく力」の育成に取り組んでいるところです。

その一環として、学校では、地域や行政機関からのご協力をいただきながら、子供たちの学びの質を高める実践を続けています。ホームページではお知らせしましたが、学校だよりに掲載しきれなかった活動を、いくつかご紹介します。



車いす体験



共感力↑



4年生は、11月から12月にかけて、社会福祉協議会との連携による取組をしました。高齢者・肢体不自由者・視覚障がい者の疑似体験を通して、生活の困難さを理解するものです。併せて、支援の方法や言葉のかけ方なども身に付けていきました。また、実際に視覚に障害のある方を講師にお招きし、体験談から学んだり点字を教えていただいたりしました。

校区内にある老人ホーム「静光園」には、コロナ感染症の予防のために訪問できませんでした。代わりに絵手紙を送りました。集会室に掲示していただき、喜んでいただいたようです。入所者の方からお礼のお手紙もいただきました。コロナ禍の中でも、よい交流ができたと思います。



自進力↑



ご協力いただいた皆様に
感謝申し上げます！

6年生は、1月に熊本県収税課のご協力により「租税教室」、学校薬剤師のご協力により「薬物乱用防止教室」を行いました。卒業後、数年で大人になる子供たち。自分も、周りの人も幸せにできるステキな大人になってほしいという願いを込めた取組です。「社会の一員として、ちゃんと税金を納めたい」「タバコやお酒に依存しない生き方をしたい」という感想を持ってくれたことを心強く、誇りに思います。

